

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1127		
科目名	地理学 1		
担当教員	山添 謙		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 3		
講義室	1316	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 2 - A [日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢] 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 D P 1 - D [市民的素養・市民的教養] 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 D P 4 - I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A 1 グローバル感覚 10% A 2 異文化への好奇心 10% D 1 市民的素養と参加 40% I 1 理解・分析と読解 10% I 2 量的分析 15% I 3 情報分析 15%		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	今日顕在化している様々な環境問題は、主体である人間と環境要素である自然との相互作用の中で考えることが重要です。地理学は、グローバルからローカルまでの空間スケールの中で、これらの関係を追及し、人間と環境との関係を横糸に、異なる空間スケールの現象の結びつきを縦糸にして、現代社会の諸問題を考えてきました。地理学 1 では、環境との相互作用や空間スケールの相違に注目した地理的な見方・考え方について、人間と大気環境との関係をベースにして考えます。授業は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づく効果的な授業方法として、また授業を補完・代替する必要がある場合に、オンライン授業を取り入れます。 キーワード：人間－環境系、大気環境、空間スケール、相互作用		
授業の趣旨	■ 副題 「社会科」の一分野である「地理」から「地理学」への展開を例に、大学での「学修」のイメージを持ち、人間と環境との関係を考えます。自然環境とくに気候の多様性が生まれるメカニズムを明らかにし、気候帯ごとに人々の暮らしの特徴について考えます。 ■ 授業の目的 21世紀の人類社会が抱える環境問題について基本的視座を涵養するとともに、世界の生活・文化にさまざまな特徴があることを理解し、地域の多様性を前提にした現代社会のとらえ		

	方を身に付けることを目的とします。 ■授業のポイント 「時間」「空間」「環境」「気候」など、日常的に見聞きする言葉について疑問を持ち、自分が立っている場所を様々なスケールで見直します。	
総合到達目標	■地球的課題の解決に当たり世界の多様性を理解するために、人間にとっての環境の意味を理解し、人間の生活空間である地表面の情報とその表現方法を知り、地域の多様な見方を修得する。 ・環境の定義について述べ、人間と環境との関係について説明できる（第1回～第5回）。 ・地理情報を分類しそれぞれの特徴と取得方法を説明できる（第4回～第5回）。 ・人間にとっての環境のうち、自然環境の多様性が生まれる仕組みについて説明できる（第6回～第13回）。 ・気候帯の成立過程について述べ、気候帯ごとの人々の暮らしの特徴について説明できる（第6回～第13回）。 ・それぞれの地域の地域性を識別し、その活について多様な観点から評価することができる（第4回～第15回）。	
成績評価方法	■地図を活用した作業と考察(15%) 適用ルーブリックA1、I1、I3 （評価の観点）空間スケールの相違についての理解度 （フィードバック方法）授業中に解説し、ポータルシステムを通じてコメントします ■環境の定義に関する小レポート(10%) 適用ルーブリックA1、A2、D1、I1 （評価の観点）学術用語の定義についての理解度、資料調査の方法 （フィードバック方法）授業中に解説し、ポータルシステムを通じてコメントする ■緯度ごとの日射量に関する作業(25%) 適用ルーブリックA1、I1、I2、I3 （評価の観点）日照時間と太陽高度の計算過程の理解度 （フィードバック方法）授業中に解説し、課題返却時にコメントします ■気候帯ごとの人々の暮らしに関する論述(50%) 適用ルーブリックA1、A2、D1、I1 （評価の観点）現象の因果関係と事象の背景に関する論理的な説明力 （フィードバック方法）授業中に解説します	
履修条件	なし。	
履修上の注意点	身の周りの出来事と世界的な現象との関係について関心を持ち、考えるよう心がけてください。 なお、令和4年度入学用カリキュラム新規開講科目「国際・自然環境論」（3年次配当）の履修条件として『「地理学1」を履修していることが望ましい』と掲げられます。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 教養科目の学びと地理学の学修について ②授業概要 授業の概要、目的、総合到達目標および授業の方法について説明を行います。評価規準について説明します。危機管理学部またはスポーツ科学部の学修において身に付けるべき教養について地理学1を例にした説明を聞き、「教養」の重要性について説明することができる（D1）。人間社会とそれを取り巻く環境との関係について想像し、時間軸と空間軸の意味について述べるることができる（A1）。 ③予習（60分） 地理学1のシラバスを読み、学術用語や授業の進め方などの疑問点を列挙する。 ④復習(70分) 時間と空間の中に自分を位置づけ、相対化を試みる。自分が存在している時点をさまざまな表現方法によって述べ、自分の属する社会が存在している位置をさまざまな表現方法によって示す。
	2	①授業テーマ 地理と地理学 ②授業概要 地理と地理学の関係について認識し、人間社会の変化の中で、地理学がどのように発展してきたかを説明できる。さらに、環境問題や国際理解などの諸課題に地理学的なアプローチがどのような役割を果たすかについて考え説明できる（D1）。 ③予習（90分） 予習動画を視聴し、「地理」と「地理学」の意味を辞書等によって調べ、その相違について考察する。 ④復習（90分） 地理的な見方・考え方の重要性について考察し、地理学の応用事例について調べる。
	3	①授業テーマ 環境とは何か ②授業概要

	「環境」を意味するいくつかの外国語を手引きにして、環境の概念について説明できる（D1、I1）。光合成や食物連鎖について理解し、生態系における生物同士の関係から環境についてさまざまな事例を挙げることができる（D1、I3）。 ③予習(120分) 予習動画を視聴し、環境の語について、英語、独語、仏語などの表現と語源等を調べる。環境の定義に関する小レポートを課す（第3回授業にて解説する）。 ④復習(120分) 人間を地球生態系に位置づけ、人間社会と他の生物との関係を考察する。
4	①授業テーマ 人間にとっての環境要素 ②授業概要 主体を人間とした場合の環境要素について説明できる。人間と環境との相互作用について理解し、人間による環境形成作用について詳述できる。公害問題と環境問題の相違、地球環境問題の特徴について説明できる（A1、D1、I3）。 ③予習（90分） 予習動画を視聴し、公害問題と環境問題について調べる。 ④復習（90分） 代表的な地球環境問題についてまとめる。
5	①授業テーマ 地理の基礎的事項 ②授業概要 地理的位置の座標としての緯度・経度、地図とその表現、さまざまな境界、時差、空間スケールとしてのミクロ・マクロまたはローカル・グローバルなどの地理の基礎的事項について説明できる（A1、D1、I2）。 ③予習（120分） 予習動画を視聴し、大学入試センター試験の地理A「地理の基礎的事項」の設問を解く。 ④復習（90分） 自宅周辺のWeb地図をいくつかの縮尺で表現させ、そこに示される地理情報の相違について考察する。次の授業で解説します。
6	①授業テーマ 日射量分布と大気大循環 ②授業概要 日射量とその季節変化について作業を通して理解しその特徴について説明できる。緯度・太陽高度・日射量・気温の関係について考察し、緯度によって自然環境の特徴が変化することを説明できる。大気大循環の発生メカニズムについて説明できる（A1、I2、I3）。授業中に作業を行い提出する。次回授業で解説する。 ③予習（90分） 予習動画及びNHKの10minボックスのWeb教材を視聴し、太陽の日周運動と年周運動について理解する。 ④復習（120分） 世界各地の降水の年変化と大気大循環との関係について考察する。
7	①授業テーマ 緯度帯と気候帯 ②授業概要 気温と降水量の分布の特徴を知り、気候帯が緯度的成帯性を確立させていることを説明できる（A1、I2、I3）。 ③予習（120分） 予習動画を視聴し、緯度的成帯性についてを調べる。 ④復習（120分） 降水の年変化の仕組みについて整理する。
8	①授業テーマ 気候とはなにか ②授業概要 気候の概念について理解し、気候帯が植生帯や土壌帯と関係が深いことを説明できる（A1、A2、D1、I3）。 ③予習（90分） 予習動画を視聴し、世界の気候帯の分布について調べる。 ④復習（120分） 雨緑林と夏緑林について考察する。
9	①授業テーマ 熱帯の人々の暮らし

	②授業概要 熱帯気候地域の自然環境の特徴について説明できる。熱帯気候地域特有の産業及び人々の暮らしについて説明できる。熱帯林破壊やサンゴの衰退などの環境問題の原因と背景について説明できる（A1、A2、D1、I3）。 ③予習（90分） 予習動画を視聴し、赤道直下の都市における日長の季節変化について調べる。 ④復習（120分） 熱帯気候地域の国と日本との貿易について調べる。
10	①授業テーマ 乾燥帯の人々の暮らし ②授業概要 乾燥気候地域の自然環境の特徴について説明できる。乾燥気候地域特有の産業及び人々の暮らしについて説明できる。砂漠化や水不足などの環境問題についてその原因と背景について説明できる（A1、A2、D1、I3）。 ③予習（90分） 予習動画を視聴し、乾燥限界の考え方について調べる。 ④復習（180分） 『森林の思考・砂漠の思考』について要約する。
11	①授業テーマ 温帯の人々の暮らし ②授業概要 温帯気候地域の自然環境の特徴について説明できる。温帯気候地域特有の産業及び人々の暮らしについて説明できる。酸性雨などの環境問題についてその原因と背景について説明できる（A1、A2、D1、I3）。 ③予習（90分） 予習動画を視聴し、気候帯別の人口について調べる ④復習（180分） 「環境決定論」について要約する。
12	①授業テーマ 冷帯と寒帯の人々の暮らし ②授業概要 冷帯および寒帯気候地域の自然環境の特徴について説明できる。冷帯および寒帯気候地域特有の産業及び人々の暮らしについて説明できる。オゾン層破壊などの環境問題についてその原因と背景について説明できる。極圏の利用について例を挙げ、その特徴について説明できる（A1、A2、D1、I3）。 ③予習（120分） 予習動画を視聴し、永久凍土やレスの分布を調べる。森林限界について調べる。 ④復習（120分） 作物の栽培限界について考察する。
13	①授業テーマ 気候変化と生物・人間 ②授業概要 第四紀の気候変化について説明できる。氷河性海水準変動について理解し、関東平野の地形発達史について説明できる。地球温暖化に伴う気候変化の特徴について理解し、その問題点を説明できる（A1、A2、D1、I3）。 ③予習（120分） 予習動画を視聴し、ミランコビッチ・サイクルについて調べる。 ④復習（200分） 地球温暖化によって人間社会が受ける影響について考察する。
14	①授業テーマ ローカルな気候 地形と気候・都市気候 ②授業概要 地形と気候とのかかわりを理解し、気象災害と地形との関係を説明できる。都市のヒートアイランド現象について理解し、人間社会との関係をいくつかの観点から説明できる（A1、A2、D1、I3）。 ③予習（90分） 予習動画を視聴し、気候因子としての地形について調べる。 ④復習（120分） 熱中症救急搬送者数と都市化との関係を調べる。
15	①授業テーマ 地理学1のまとめ ②授業概要

	これまでの授業での学びを振り返り、地理的見方・考え方について自分の言葉で説明できる（A1、A2、D1、I1、I2、I3）。 ③予習（300分） 授業のノートの全体を振り返る。 ④復習（180分） 専門教育の学修と地理学との関係を考察する。
関連科目	地理学 2（RMGT/SSCS 1128），地球科学 1（RMGT/SSCS 1155），地球科学 2（RMGT/SSCS 1156）
教科書	『標準高等地図－地図でよむ現代社会－』帝国書院，ポータルシステム等にてプリントを配信する。
参考書・参考URL	鈴木秀夫『森林の思考・砂漠の思考』NHKブックス
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワー（授業中に提示）にて対応します。 メールアドレス等の連絡先は授業中に示します。
研究比率	

